

宗教を越えた災害支援の ネットワーク

黒崎浩行（國學院大學）
hkuro@kokugakuin.ac.jp



宗教者災害救援ネットワーク

2011年3月13日

世界各国からも、宗教・人種・国境をこえて、メッセージ・祈りが寄せられています。

教団、宗派、をこえて、思いを、願いを、祈りを、安否の情報を、救援の情報を、活動場所の情報を、義捐金情報を様々なもの共有できたらと思います。

呼びかけ人:稲場圭信(大阪大学准教授),黒崎浩行(國學院大學教授),樫尾直樹(慶応大学教授),Keiko Grace Kobori

いいね!・コメントする・シェア



1



宗教者災害救援ネットワーク

2011年3月13日

宗教者、学識者、市民の皆さま

この度の、東北・関東大地震・津波により、ご自身が、あるいは、家族・親族・友人が被災者かもしれません。大切な方を亡くしている人もあるかもしれません。突然すべてを失って方々のご冥福をお祈り申し上げます。

いいね!を取り消す・コメントする・シェア



2

金光教首都圏フォーラム

twitterhttp://twitter.com/konkokyo_forum

東北沖太平洋地震に関連するフォーラムの災害救援情報、該当地域の被災状況を発信

金光教首都圏フォーラム (konkokyo_forum) on Twitter

金光教首都圏フォーラム (konkokyo_forum) is on...

いいね!・コメントする・シェア



2



宗教者災害救援ネットワーク

2011年3月13日

自ら被災しながら、助け合いの行動をしている人もいることでしょう。

未曾有の大災害に、「ほっとけない」と支援に動き出した人もいるでしょう。

被災者のために何かお役に立ちたいけれど、何をしてよいのか、何もできないと煩悶している人もいるかもしれません。

いいね!を取り消す・コメントする・シェア



2

上田紀行 (UedaNoriyuki) is on Twitter. Sign up for Twitter to follow
上田紀行 (UedaNoriyuki) and get their latest updates

いいね！・コメントする・シェア



宗教者災害救援ネットワークさんがリンクをシェアしました。

2011年3月14日

真如苑 緊急情報発信

http://twitter.com/#!/shinnyoen_info

福島、原発の被害の影響もあり、なかなか支援物資が届かない状況。ようやく届く。

真如苑 緊急情報発信 (shinnyoen_info) on Twitter

真如苑 緊急情報発信 (shinnyoen_info) is on Twitter.
Sign up for Twitter to follow 真如苑 緊急情報発信...

いいね！・コメントする・シェア



Kyoko Nakanishiさんがリンクをシェアしました。

2011年3月14日

カトリック中央協議会のウェブサイトの東北地方太平洋沖地震関連特設ページへのリンクです。

金光教首都圏フォーラム

http://twitter.com/konkokyo_forum

先遣隊が現地に入って調査中。結果が入り次第報告する。

金光教首都圏フォーラム (konkokyo_forum) on
Twitter

金光教首都圏フォーラム (konkokyo_forum) is on...

いいね！・コメントする・シェア

1



Umetsu Reiji ▶ 宗教者災害救援ネットワーク

2011年3月14日

立正佼成会は、理事長を対策本部長に対策本本部を設置し、
12日に3隊を派遣しております。

いいね！を取り消す・コメントする

1



宗教者災害救援ネットワークさんがリンクをシェアしました。

2011年3月14日

曹洞宗 災害対策本部設置

<http://www.sotozen-net.or.jp/category/teqw>

曹洞宗 曹洞禅ネット SOTOZEN-





Umetsu Reiji ▶ 宗教者災害救援ネットワーク

2011年3月15日

ご苦労様です。

お疲れのことと思われるが、国難のときに宗教界・宗教者の底力が発揮できる時と存じます。

いま、私は関係しているNGO、NPOのメールから現地情報が入っています。

あまりに被災地域が広く、救援物資も入っていない地域がたくさんあるとの情報です。

現地でもガソリンがないために歩いて救援活動されているようです。

被災をまぬがれた宗教施設のみなさま、被災者の避難所あるいは全国から集まるボランティアの受入施設に名乗りをあげてください。宗教施設は、ひと時の癒し、祈りの場として、最適ではないでしょうか、きっと生きる希望の場になると思います。

宗教団体の公益性が発揮できる機会だと思います。合掌

いいね！を取り消す・コメントする

👍 1 💬 1



西村 明さんがひとなみを通してノートシェアしました。

2011年3月15日

http://www.facebook.com/note.php?note_id=206492776028505

【極限状況で宗教者にできること・してほしいこと】※ウォールより転載

宗教者の出番です。こういう艱難の時にこそ、宗教者が応えることにより、改めてその存在価値が出てくると思います。

いいね！・コメントする



宗教者災害救援ネットワーク

2011年3月15日

<http://www.facebook.com/project173>

【僧侶】災害支援に関する、各宗派の取り組み情報

ひとなみ



生きづらさや死生と向き合う交流サイトです(^-^)/
非営利団体: 330人が「いいね！」と言っています

いいね！・コメントする・シェア



宗教者災害救援ネットワークさんがリンクをシェアしました。

2011年3月15日

田中恆清神社本庁総長の談話。神社本庁は早期復興に向けた支援活動に乗り出す由。

この地図は宗教者災害支援連絡会 (<https://sites.google.com/site/syuenrenindex/>)、宗教者災害救援ネットワーク (<http://www.facebook.com/FBNERJ>) と連携しながら、宗教団体、宗教者、研究者、ボランティアの協力のもとに提供しています。教団から提供して頂いた情報以外の情報は、宗教年鑑（文化庁）及び、ネット上に公開されている情報をもとに作成しています。

この地図は、2011年3月11日に発生した東日本大震災における各施設の被災情報および救援活動の拠点を表わしています。宗教施設も被災しながら、それぞれに檀家、信者、氏子、地域住民とともに苦境を乗り越えようと日夜取り組まれています。災害状況の把握、救援のための情報共有、そして復興にむけての連携の土台として、この地図を作成しています。

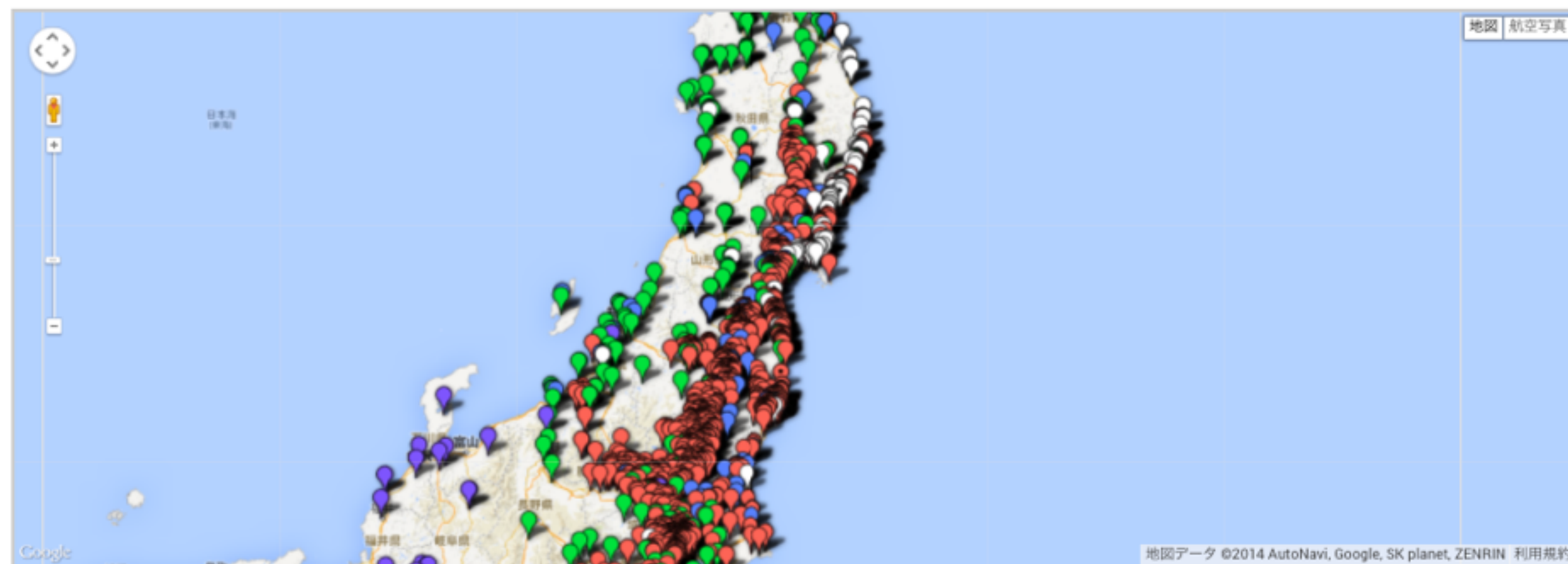
稲場圭信（大阪大学准教授）k-inaba@hus.osaka-u.ac.jp

黒崎浩行（国学院大学准教授）hkuro@kokugakuin.ac.jp

マップシステム構築チーム：黒崎浩行（統括）、竹井宗徳、山下竜一、中谷建夫

作業ボランティアチーム：荒内美帆、板井正齊、一針早苗、榎本香織、大江あゆ子、金津里、志田雅宏、根本臣悟、三谷はるよ

- マーカーの色は、■ = 被災、■ = 要緊急支援、■ = 救援拠点、■ = 無事、■ = 被災者受け入れ情報、■ = 未確認を表しています。
- マーカー内の★印は、研究者が訪問し、報告を寄せた施設を表わしています。マーカーをクリックして表示される情報ウィンドウの [リンク] をクリックすると、調査報告書へジャンプします。
- マップに掲載している情報は、「宗教者災害救援マップ（一覧表示）」（[ウェブページ](#)、[CSV](#)、[PDF](#)）で閲覧できます。
- 被災者受け入れ情報は、こちら（[マップ](#)、[一覧ウェブページ](#)、[CSV](#)、[PDF](#)）をご覧ください。
- 本マップの構築過程と課題を文章にまとめました。[黒崎浩行・稲場圭信「宗教者災害救援マップの構築過程と今後の課題」](#)（『宗教と社会貢献』3(1)（2013年4月）：65-74。
- 今後の災害に備える取り組みとして、「[未来共生災害救援マップ](#)」が、大阪大学・未来共生イノベーター博士課程プログラム（文部科学省による採択プログラム）のコミュニティ・ラーニングの一環として構築・公開されました（2013年4月）。





大雄寺

(曹洞宗)(宮城県)

避難者数 40人(2011/4/30) 、 30人(2011/6/1)

[活動状況]

[更新年月日] 6/1/2011

[リンク](#) [リンク2](#)





立正佼成会 仙台教会
(立正佼成会)(宮城県)

【4月 8日 12:00現在】 ・インフラの状況：昨夜（7日23：30頃）の余震で電気・水道がストップしたが、翌日7：30頃に教会は復旧した。多賀城市や沿岸部では、朝の段階でまだ停電のところもあった。 ・入浴：電気・水道・ガスは朝の時点で復旧したが、教会のお風呂のボイラーが壊れており、本日（8日）の入浴は出来なかった。 ・ガソリン等燃料の状況：昨日までは、まったく並ぶ様子は見られなかったが、昨日の余震の影響（停電）で営業していないガソリンスタンドが多数見られた。営業しているスタンドにお客さんが集中しており、車列ができている状態が昼ごろ見られたが、夕方の市内は落ち着きを取り戻していた。 ・物資等の流通状況：弁当やパン類などはほとんど置いていなかった。カップラーメンや飲み物はある。 【4月 9日 12:00現在】 ・インフラの状況：7日の余震の影響で電気・水道・ガスの復旧していない近隣地域もあり。 ・入浴：教会のお風呂が使用できるようになった。 ・ガソリン等燃料の状況：ガソリンスタンドに並ぶ車列は確認できず。ただ、閉店している店は何件か見かけた。 ・物資等の流通状況：コンビニは、昼頃には弁当やパン類などが無かったとの情報もあった。教会近くのコープには、朝11時頃には野菜や肉、魚類、パンなど一通りの食材はあったがカップラーメンは品薄だった。（以下略）お弁当屋さんには普通に売っている。 【4月10日 12:00現在】 ・インフラの状況：8日の余震の影響で電気・水道・ガスの復旧していない近隣地域もあり。 ・ガソリン等燃料の状況：仙台・石巻ともガソリンスタンドに並ぶ車列は確認できず。ただ、閉店している店は何件か見かけた。 ・石巻ボランティアセンター情報：ボランティアセンターのある石巻専修大学では、巨大なWFP(物資の倉庫)や各NGO、個人のものなど大小100張ほどのテントが建っていたが、大学が通常の状態に戻るため、まもなくテントは移動する予定。NHKニュースでは本日は900名のボランティアが集まって市内の瓦礫片付けを行ったとのこと。全国から石巻に注目が集まっており、東北道から高速で直接現地に入れるという利便性もあり、NGOがさまざまな手法でボランティアを募り、人が集まりやすい状況が作られつつある。 【4月21日 12:00現在】 ・インフラの状況：高潮のため、冠水の道路が多数あり（石巻地区）

[活動状況] 【4月 8日 12:00現在】 ・多賀城市ボランティアセンターで活動中。 【4月10日 12:00現在】 ・多賀城ボランティアセンター情報：昨日に引き続き、総合体育館の避難者受け入れ準備（荷物の移動作業・パーティション作りなど）を行った。 【4月12日 12:00現在】 ・宮城県に義援金目録贈呈 ・塩釜市・七ヶ浜町・多賀城市・仙台市・名取市・岩沼市・亶理町・山元町に義援金目録贈呈 【4月21日 12:00現在】 ・東松島ボランティアセンター：ヘドロだし、家の片付け等を実施 ・石巻隊：被災宅後片付け

[更新年月日] 5/24/2011
[リンク](#) [リンク2](#)





天理教 天理教会本部

(天理教)(奈良県)

【4月1日現在】「震災被災者受け入れ対策室」 〒632-8501 天理市三島町271 電話：0743-63-2517 FAX：0743-63-3075
受け入れ人数：3000人（小中学生は天理市立学校への就学も可、天理教信者以外の方も受け入れ）受け入れ施設：：奈良
県天理市内の天理教関係施設（罹災証明書が必要となります）

[活動状況]

[更新年月日] 3/25/2011

[リンク](#) [リンク2](#)



ホーム

[サイトマップ](#)

[宗援連の趣旨](#)

[発起人・賛同者／世話人](#)

[活動報告](#)

[SNS宗援連](#)

[お問い合わせ](#)

[宗援連運営のための寄付の
お願い](#)

関連サイト

[宗教者災害救援ネットワー
ク\(Facebook\)](#)

[宗教者災害救援マップ](#)

SNS宗援連より

[保養プログラム情報](#)

[被災者受入施設情報](#)

[被災地情報](#)

[宗教者のつぶやき](#)

[宗援連に関する報道](#)

[その他情報](#)



東日本大震災お見舞い申し上げます

(2011年4月1日発足) 2014年4月6日更新

[東日本大震災支援全国ネットワーク \(JCN\) 会員](#)

毎月11日 "追悼のとき" の御提案

◆ご案内◆

第19回情報交換会のお知らせ

日時：2014年6月2日(月) 17時～

会場：(財)東京大学仏教青年会ホールA・B

(東京都文京区本郷3-33-5 三菱UFJニコス本郷ビル2F)

東京メトロ・都営地下鉄本郷三丁目駅徒歩3分

報告：

木ノ下秀俊氏(真宗大谷派) 「それぞれのふくしま」

星野英紀氏(大正大学理事) 「高台復興住宅建設と行政・住民・菩提寺―相馬市漁師地区の場合」

参加自由・無料

前回までの情報交換会の内容については、[活動報告](#)をご覧ください。

◆最近の動きから◆

シンポジウム「現代宗教とつながりの力」パネリストの寄稿記事が『中外日報』に掲載

公益財団法人国際宗教研究所・宗教者災害支援連絡会共同主催により、2014年2月22日(土)に開催されたシンポジウム「現代宗教とつながりの力」にパネリストとして登壇した方々の論考が『中外日報』に掲載されました。

- 現代宗教と「つながりの力」シンポに参加して ― 祈りをもって寄り添う (西川勢二氏)
- 信仰に依る支"援"=支"縁"の構築 ― 被災者と"同化"せずに (久間泰弘氏)
- たすけ合いの展開～支援から支縁へ～ ― 新たな絆・ご縁に期待 (平澤勇一氏)

宗援連の趣旨

- ・ 「多様な試みの情報をつきあわせ、お互いの経験から学びあう、宗教、宗派を超えた宗教者の連絡組織として、被災者や避難者の助けとなる」

情報交換会の主な話題

- ・ 避難者受け入れ
- ・ 被災地での救援・支援活動
- ・ 読経、供養
- ・ 被災者の心のケア
- ・ 被災地での宗教間協力
- ・ シニアボランティア
- ・ 保養プログラム

心の相談室

「心の相談室」は、東日本大震災後における弔いから悲嘆ケアまでの一貫した支援を行っています。

<< 2014年05月 >>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

Latest Entries

- 催事総合案内 (03/29)
- ラジオ：Café de Monk の軌跡 (03/06)
- ラジオ版 Café de Monk 特番のご案内 (03/06)
- ラジオ版 Café de Monk 今後の予定 (03/06)
- 「こころの時代」(NHK教育) 再放送のご案内【2014年02月28日update】(02/26)

2014年03月29日 (土)

催事総合案内

- 2014年3月22日 (土) ラジオ版 Café de Monk 岩井俊二さん (作家、映画監督。「花は咲く」を作詞)

<http://shikai.sub.jp/kokoro/2014/03/-cafe-de-monk-3.html>

- 2014年3月29日 (土) ラジオ版 Café de Monk (最終回) 杉谷義純さん (大正大学理事長)

<http://shikai.sub.jp/kokoro/2014/03/-cafe-de-monk-3.html>

※2014年にあわせてサイトリニューアルいたしました。これまでの内容はアーカイブとして以下に置いてあります。

心の相談室 (2011～2013) <http://www.sal.tohoku.ac.jp/kokoro/diary.cgi>

 いいね!

 シェア

2人が「いいね!」と言っています。
「いいね!」をクリックして、友達に知らせましょう。

Posted by 心の相談室 at 23:59 | Category: おしらせ | - | -

2014年03月06日 (木)

ラジオ：Café de Monk の軌跡

通算	シーズン	回数	放送年	放送日	ゲスト	視聴
1	第01期	第01回	2011年	10月1日	金田諦應さん (曹洞宗通大寺住職)	視聴

Search this site

Search

Categories

- ラジオ：Café de Monk (0)
- 論文・インタビュー (0)
- 講演会 (0)
- ・ラジオ：Café de Monk：放送予告 (0)
- リアル：Café de Monk (0)
- 組織 (0)
- ・特例慰霊祭 (0)
- ・月例慰霊祭 (0)
- ・ラジオ：Café de Monk：バックナンバー (0)
- ・ラジオ：Café de Monk：軌跡 (1)
- ラジオ：Café de Monk (0)
- 行動規範・倫理綱領 (0)
- 理念 (0)
- おしらせ (1)

Archives

- 2014年03月 (4)
- 2014年02月 (10)
- 2014年01月 (7)
- 2013年12月 (2)
- 2013年08月 (1)
- 2012年07月 (1)
- 2011年06月 (1)

「心の相談室」 設立理念

- ・ 「これまでの日本では、死者の弔いは宗教者の責務と位置づけられてきました。しかし今回のように未曾有の大量死に直面した時、その弔いは宗教者にとって、宗派教派を越えて広く取り組むべき大きな課題となっているものと思われます。もちろん弔いの儀礼が継続的に行われる一方で、残された遺族に対しては悲嘆ケア、さらには生活の再編に至る包括的な支援が必要になってくることは言うまでもありません。」

「心の相談室」の活動

- ・ Café de Monk（避難所・仮設住宅集会所での移動傾聴喫茶）
- ・ ラジオCafé de Monk
- ・ 月例合同慰霊祭（仙台市・葛岡公園墓地）

「臨床宗教師」養成

- ・ 東北大学文学部実践宗教学寄附講座：2012年4月開設。臨床宗教師研修を実施。

臨床宗教師は心のケアに関わる専門職として地域の支援者の輪に加わります。

被災地で

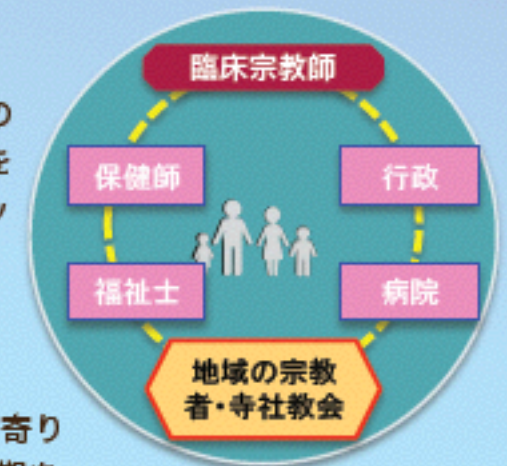
仮設住宅の自治会や民生委員、保健師、社会福祉士といった方々と連携し、地域の宗教文化の特性をいかながら傾聴活動を行ないます。地域の宗教者とも連絡をとりながら、身内を亡くされた方などへの宗教的ケアが適切に行き届くようにします。

病院で

病気や死の不安を抱える患者さんやご家族の言葉に耳を傾け、適切な看取りの環境作りを助けます。また患者さんを支える看護スタッフのストレス軽減にも貢献します。

介護・福祉施設で

日本は超高齢化社会を迎え、施設に暮らす身寄りのないお年寄りが増えています。安らかな最期を迎える準備をお手伝いし、お葬式やお墓についての相談にも乗ります。



「戦後の日本では、宗教や死生観について語り、この暗闇に降りていく道しるべを示すことのできる専門家が死の現場からいなくなってしまいました。人が死に向かい合う現場に医療者とチームを組んで入れる、日本人の宗教性にふさわしい日本型チャプレンのような宗教者が必要であろうと考えてきました。」 医師・岡部健(1950-2012)



連携を生んだ3つの要因

- ・ 未曾有の大災害にさいし、ともに祈り、支える共通の場が生まれた
- ・ 「寄り添い」 ・ 「傾聴」の重視：独善的な信仰や価値観の押しつけを排し、当事者の苦しみ・悲しみに寄り添う姿勢へのコンセンサスの醸成
- ・ 宗教者の支援活動や宗教施設の復旧・復興をめぐる「政教分離の壁」の共通認識

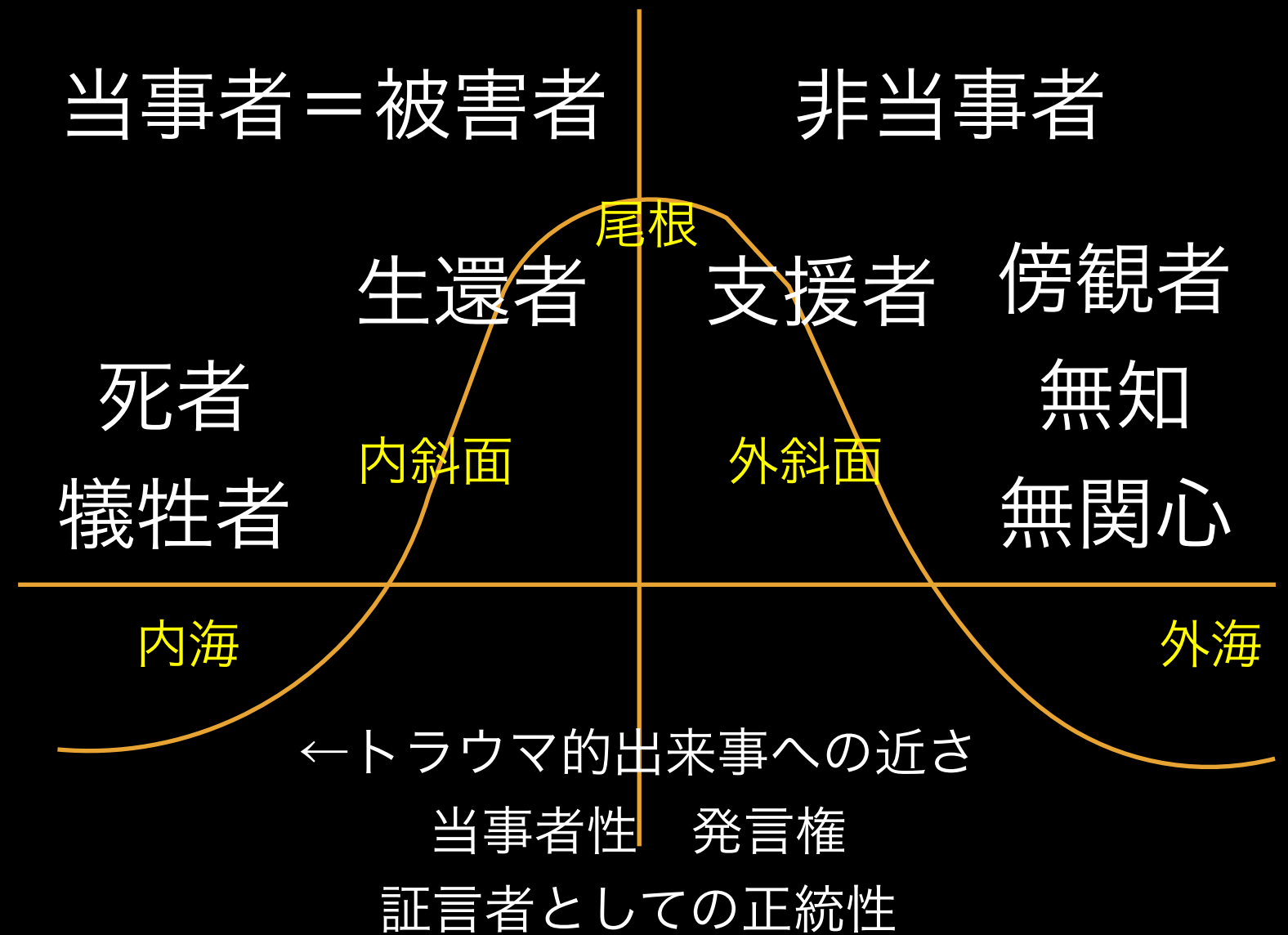
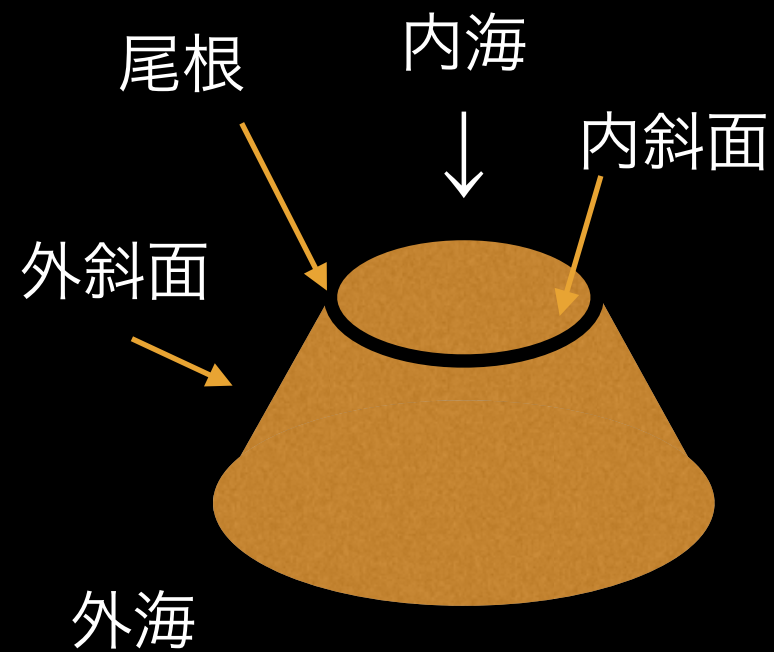
寄り添い・傾聴

- ・ 救援と救済のジレンマ [岡尾・渡邊・三木2013]
- ・ 神義論、宗教的脅迫と社会との断絶 [藤田2013]
- ・ 臨床宗教師倫理綱領（2013年8月20日改訂）：「臨床宗教師はケア対象者の信仰・信念や価値観、社会文化的背景等を尊重しなければならない。臨床宗教師はケア対象者に対して、自身の信仰・信念や価値観に基づいてケア対象者の話を解釈することがないようにすべきである。そのために臨床宗教師は、絶えずそれらを自覚化するよう心がける必要がある。」

「政教分離の壁」

- ・ 「福島復興再生基本方針」（2012年7月13日閣議決定）パブリックコメント募集に対する日本宗教連盟、全日本仏教会の要望「帰還した人々の心を安定させ、生活や文化の向上を図るためにも、地域の宗教施設や伝統文化に基づく宗教文化の継承は必要なもの」
- ・ 復興庁の回答…憲法20条を理由に「あくまでも文化、観光等の再生の観点から、結果的に対象となっている」
- ・ 日宗連・全仏、再度申し入れ→復興庁、回答補足「宗教施設であるからといって、直ちに国の施策の対象外となるものではなく、例えば、上記の地域の伝統や文化、コミュニティの再生等の面から、地域の復旧・復興施策の対象となり得るものと考えております」

環状島



[宮地2011] をもとに作図

まとめ

- ・ 宗教者による支援の連携のプラットフォームづくりとその周知化の必要性
- ・ 行政（自治体と宗教施設との協定締結の動き） ・ NPO・NGO・医療などとの連携
- ・ 異なる宗教伝統によるアプローチの違いを認めつつ、支援のあり方の学びあいを深める必要性